

心理学系報告 (2010. 4. 1~2010. 9. 30)

I 人事異動

2010年 4月 1日	原田 悦子 教授	就任 [法政大学]
	青木佐奈枝 准教授	就任 [東京成徳大学]
	藤 桂 准研究員	就任 [筑波大学大学院人間総合科学研究科]
2010年 9月 30日	石川満佐育 准研究員	転出 [鹿児島県立短期大学]

II 学系構成員 (2010年 9月 30日現在)

	研 究 領 域					
	実 験	教育・認知	産業・社会	発 達	臨床・相談	
教 授	一谷 幸男 小川 園子	服部 環 原田 悦子 茂呂 雄二	松井 豊 吉田富二雄	大川 一郎 櫻井 茂男 濱口 佳和	石隈 利紀 小川 俊樹 小玉 正博 藤生 英行	
准教授	綾部 早穂 加藤 克紀 山田 一夫	外山 美樹	岡田 昌毅 湯川進太郎	安藤 智子 佐藤 有耕	青木佐奈枝 杉江 征 田中 輝美	
講 師				佐藤 純	望月 聡	
助 教	坂本 敏郎				檜村 正美 田附あえか 寺島 瞳	
准研究員	内海奈緒子		藤 桂	石川満佐育 江口めぐみ		

Ⅲ 心理学系教員指導論文題目一覧

1. 2009年度 博士論文

(1) 課程博士

氏名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
浅井真理子	がん医療における患者ケア提供者の精神的苦痛：実態および関連要因の検討	松井 豊
葉山 大地	友人間における冗談の不達を生起させる要因の検討	櫻井 茂男
藤 桂	インターネット利用が社会性および攻撃性に及ぼす影響： インターネット行動尺度による分析を通して	吉田富二雄

ヒューマン・ケア科学専攻

浅野 憲一	わりきり志向と精神的健康との関連についての心理学的研究	小玉 正博
松田 侑子	大学生の就職不安に関連する要因の検討	新井邦二郎

生涯発達科学専攻

家近 早苗	心理教育的援助サービスの向上に影響を与える コーディネーション委員会の機能	石隈 利紀
樽木 靖夫	協力的集団体験を通して中学生の自己評価を高める 教師の援助的介入に関する研究	石隈 利紀
山口 豊一	中学校のマネジメント委員会の機能がチーム援助体制 およびチーム援助行動に与える影響	石隈 利紀

(2) 論文博士

氏名	論文題目	主査・指導教員
阿部 宏徳	ロールシャッハ・テストの把握型システムに関する一考察 一色彩領域に対する反応形式に基づいた分類法の提案一	小川 俊樹
石川満佐育	ゆるし傾向性に関する発達臨床心理学的研究	濱口 佳和
上村恵津子	保護者面談における教師の連携促進プロセスに関する研究	新井邦二郎
末永 叔子	海馬カンナビノイド受容体の学習・ 記憶における役割に関する行動神経科学的研究	一谷 幸男
瀬戸美奈子	中学校・高校の援助チームおよび援助システムにおける コーディネーションに関する研究	新井邦二郎
藤枝 静暁	子どもを対象としたソーシャルスキル教育プログラムの実践研究	新井邦二郎
松原 達哉	生活分析的カウンセリング法の開発に関する研究	新井邦二郎

2. 2009年度 修士(中間)論文

(1) 人間総合科学研究科

氏名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
坂口 奈央	小学生の担任教師に対する信頼感と学校ストレスとの関連	櫻井 茂男
西村多久磨	中学生の学習動機の自律性を高める体験の検討	櫻井 茂男
村上 達也	児童期におけるアタッチメントの内的作業モデルの構造	櫻井 茂男
心理専攻 心理臨床コース		
伊里 綾子	抑うつ・不安傾向と感情喚起語からの注意解放 —修正版 gap-overlap 課題を用いて—	望月 聡
大江 悠樹	不快情動耐性と情動制御方略との関連	小川 俊樹
工藤 麗弥	妊婦及び1歳児をもつ母親の会話と精神的健康の関連	佐藤 純
関根 千恵	被害的思いこみ体験後の対処行動と適応の関連	濱口 佳和
西澤千枝美	幼児の不安傾向の変化と乳幼児期の気質および養育者の養育行動との関連	濱口 佳和
藤原 健志	青年期における聴くスキルについての発達臨床心理学的研究 —友人の話を聴くことを中心に—	濱口 佳和
松尾 陽	大学生の学生相談に対する援助拒否一場面想定法による関連要因の検討—	小川 俊樹
諸星さやか	学校ざらい感情と学校生活感情体験との関連	新井邦二郎
山田 圭介	感情制御能力はパフォーマンス場面における対処行動選択に影響を与えるか —活動指向と状態指向の相違に注目して—	杉江 征
渡邊 千聡	養育環境における自己抑制に関する検討—性格特性と被害的認知の観点から—	小川 俊樹
Lin Shuzhen	在宅高齢者を対象にした音読・計算活動の影響について —主観的評価, 日常生活および心理面への効果を中心に—	新井邦二郎
感性認知脳科学専攻		
内村 太一	雄マウスの性・攻撃行動に関する研究: 攻撃行動選択交配系マウスを用いた解析	小川 園子
柏村 実生	Role of pubertal hormones in masculinization of social and emotional behavior in male mice	小川 園子
清水 誠	ラットのメタンフェタミンによる条件性場所選好の習得 および再燃におけるドーパミン受容体の役割	山田 一夫
肥後 明花	周生期のダイオキシン被曝が成長後の情動・社会行動に及ぼす影響	小川 園子
領家 梨恵	ラットの心的外傷性ストレスが後の恐怖条件づけに及ぼす効果	山田 一夫
生涯発達専攻 カウンセリングコース		
青島 芳子	発達障害児の母親における障害特性の受容と特別支援教育の受け入れとの関連	濱口 佳和
飯島 郁	特別支援学級の児童に対する教科交流場面でのモニタリングによる介入の効果	大川 一郎
伊賀美夕季	特別支援学校教師のチームでの指導・援助に関する研究	石隈 利紀
池田 幸代	保育者のストレスが職務に対する精神状態に及ぼす影響 —保育者の内的要因を媒介変数として—	大川 一郎

上原 櫻子	中年期失業者の再就職に関連する心理的要因の探索的検討	藤生 英行
大場 良子	女性がん体験者における女性性と再適応過程との関連	小玉 正博
大矢 正則	高等学校における「援助者となる体験学習」に関する研究	石隈 利紀
小倉 泰憲	個人と組織の共生が仕事と組織外活動の両立に及ぼす影響	小玉 正博
小野 弥穂	女性の日常生活における生きづらさに関する一研究	藤生 英行
梶山 陽子	うつ病患者の配偶者としての困難さと精神的健康—理解と受容の観点から—	湯川進太郎
金内 則子	ブラダー・ウィリー症候群の親による体重と問題行動の総合的管理に関する研究—M-GTAを用いた親面接データの分析—	濱口 佳和
笹峯 幹乃	救急隊員の職務ストレスと惨事ストレス	松井 豊
高橋南海子	学校から職業への移行に関する研究—就職活動による自己成長感と入社初期の適応との関係—	岡田 昌毅
佃 志津子	がん体験後のポジティブな変化—病いの語りにみる変化・出来事・プロセス—	大川 一郎
中山 道子	職場内における不快な業務メールとその対処法	松井 豊
南雲 晶子	スペシャリスト志向社員チーム・コミットメント形成に影響を及ぼす要因	岡田 昌毅
阪田 真代	バウムテストと統合型 HTP 法の比較—描かれる「木」の差異と性格特徴との関連—	濱口 佳和
平野 陽一	児童自立支援施設入所児童における生活場面で示す行動とその他の要因との関連について—初発非行年齢と信頼できる大人の存在に焦点をあてて—	藤生 英行
古川幸之助	メール相談における相談手法の検討	松井 豊
森 理宇子	企業のみドルマネジメントにおける上司への信頼について	松井 豊
谷部 陽子	薬物依存症回復支援施設職員の職務ストレスに影響する要因—アルコール・薬物依存症回復支援施設職員に対する全国調査から—	大川 一郎
山口 稔	労働環境激変期において就労者の内的要因がやる気に及ぼす影響	岡田 昌毅
山崎 秀樹	企業ミドルマネジャーの自己モニタリング、自己効力感が役割の達成に及ぼす影響について	小玉 正博
依田 香	看護師のコミュニケーション技術とストレスおよび適応感との関係について—精神科に勤務する看護師を対象として—	藤生 英行
米田 美映	DV 被害を受けた女性はどのようにして加害行為に気づきパートナーから離れたのか—加害行為についての被害女性の認知変容プロセスの検討—	濱口 佳和

(2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏名	論文題目	指導教員
杉本 拓也	教師の仕事に対する動機づけを支援するスクールリーダーの実践について—公立高等学校に対する実態調査に基づいて—	櫻井 茂男

3. 2009年度 人間学類心理学主専攻 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
青山 えり	不眠、不安・仰うつ、被害妄想的観念における実行注意機能の役割	湯川進太郎
青山 佳代	対人認知の変容に関する要因の検討—帰属とパーソン・ポジティブティの観点から—	小川 俊樹
阿部 麻耶	大学生の『居心地の良い空間』『居心地の悪い空間』についての検討—自己意識・他者意識との関係と主観的幸福感への影響—	杉江 征

天田 正人	自己内省・感情体験様式・注意制御が認知統制を介し 精神的健康へ与える影響について—よりよい内省を促すために—	杉江 征
鈴野 廣人	音声ネガティブ語の注意の瞬き—不安状態は注意の停留を促進するか—	綾部 早穂
新井 康弘	大学生の達成目標及び授業タイプが学生による授業評価に与える影響	服部 環
石川万里子	大学生の時間的展望を主題とした筆記的介入の検討 —主観的および客観的評価による筆記文章分析を通して—	佐藤 純
板垣 佳苗	原因帰属の観点からみた大学生の対人ストレス場面に関する検討	小川 俊樹
猪瀬智恵子	児童期の甘え・甘やかされ経験について —大学生の自己過失場面における責任の認知との関連—	新井邦二郎
岩城 聡美	小学生用主体性尺度作成の試み	佐藤 純
植田麻友美	保護者の言葉かけが幼児の自己制御機能に与える影響 —「親子のコミュニケーションだより」の配布による介入の検討も含めて—	櫻井 茂男
遠藤 知佳	大学生と高齢女性の化粧品に対する意識の比較	松井 豊
大貝真理子	ネガティブな出来事から起因する成長感とレジリエンスの関連に関する検討	濱口 佳和
太田 佑人	職業上必要とされる能力の構造化方法の検討—FSM 法を用いて—	岡田 昌毅
荻原 和樹	複数知人遭遇場面における自己呈示の葛藤	松井 豊
貝澤 紗希	潜在連合テスト (IAT) における親近性の影響	綾部 早穂
川西 苑子	学生相談利用に関するイメージ及び悩みによる自己の状態と 学生相談への被援助志向性との関連	佐藤 純
工藤 文子	新生仔期 NMDA 受容体遮断ラットの 放射状迷路学習障害に及ぼすクエチアピンの効果	一谷 幸男
久銘次美奈江	ラットの自発的位置再認に及ぼす D-cycloserine の効果	一谷 幸男
栗栖 和丸	恐怖条件づけが視覚探索課題での標的の検出に及ぼす影響	菊地 正
栗原 美樹	新生仔期の養育環境がマウスの情動・社会行動に及ぼす影響	小川 園子
黒田 翔子	大学生の子ども好きの要因とその効果	新井邦二郎
小沼 倫子	オンラインコミュニティにおける規範の形成と維持 —管理者の機能に着目して—	吉田富二雄
小林 舞子	雄マウスの摂食行動と体重の制御に果たすテストステロンの役割	小川 園子
近藤 一哉	ダンス経験がダンス評価に及ぼす影響	綾部 早穂
鈴木 秀明	文化的自己観の違いとフロー状態の関連性の検討	小玉 正博
関根 瑛理	近交系マウスの自発的防御性覆い隠し行動における社会的影響	加藤 克紀
高田 琢弘	ギャンブル行動における認知および感情の役割	湯川進太郎
高野 越史	ラットにおけるメタンフェタミンによる条件性匂い選好	山田 一夫
武中 智美	過剰適応傾向が被賞賛後体験感情に与える影響—学業面からの検討—	外山 美樹
棚原 友季	新生仔期母仔分離ストレスが情動・社会行動に及ぼす影響： オキシトシン遺伝子欠損マウスを用いた検討	小川 園子
得能真里香	異性との際際が友人関係及び親子関係に与える影響の発達的变化	佐藤 有耕
中田 千絵	過去の関係性攻撃加害経験・被害経験の長期的影響の検討	濱口 佳和
中村 衣里	異動に伴う変化への対処行動がキャリア主体性に及ぼす影響 —継続的变化に焦点をあてて—	岡田 昌毅
中村 香理	大学生のアルバイトにおける感情労働	湯川進太郎
中村みなみ	コミュニティ感覚と育児ストレスとの関連 —援助・被援助に対する態度及び知覚されたソーシャル・サポートを介して—	濱口 佳和
中村夕梨子	正規性・等分散性の逸脱に対する平均差検定の頑健性	服部 環
成澤 知美	楽観性及び犯罪情報が犯罪不安・リスク認知・防犯対策に及ぼす影響	吉田富二雄
南部 龍一	統合失調型とパラノーマル—情報接触の影響をふまえて—	湯川進太郎
野神 直也	形がニオイの印象に及ぼす影響 —外向性・情緒不安定性における情報処理スタイルの観点から—	綾部 早穂

羽部 千尋	大学生の適応と性格特性との関連—外的・内的適応の観点から—	小川 俊樹
早野 聡一	ステレオタイプ喚起情報が対人印象に及ぼす効果	吉田富二雄
原 由莉	関下単純接触における潜在的効果の顕在化過程 —対人相互作用を媒介として—	吉田富二雄
馬場友理恵	化粧の心理的効果に関する検討—すっぴんと化粧顔との比較から—	小川 俊樹
樋口 洋子	色と文字による時間的文脈手がかり効果の検討	菊地 正
藤井早希子	チャムシップ体験がその後の愛着および対人関係上の適応に及ぼす影響 —性差に焦点を当てて—	新井邦二郎
藤田 良子	大学生における2種類の自己愛と精神的健康の関連 —感情コンピテンスの観点から—	小玉 正博
降幡 亮輔	通信制高校の生徒における学校ストレス対処方略	櫻井 茂男
古田 沙織	グループワークにおける役割認識とその推移パターン	茂呂 雄二
別府 千恵	親からの比較経験と親子関係が児童の自己知覚および不安に及ぼす影響	櫻井 茂男
水野明日香	父母の養育態度が性役割態度を媒介にして職業観に与える影響	外山 美樹
宮前 光宏	高特性不安者・高社会不安者における注意バイアス —表情刺激処理の初期から中期に焦点を当てて—	望月 聡
宮村あずさ	解離傾向と自己制御との関連	望月 聡
村上 夏美	両親・親友・重要な他者との心理的距離が精神的健康に与える影響	外山 美樹
門間 貴史	喫煙行動および禁煙行動に関する心理的要因の検討 —喫煙経験および禁煙経験の有無による比較—	大川 一郎
宿岩 千夏	「心の余裕のなさ」、防衛機制と主観的体調不良	望月 聡
中村 一路	ラットの条件性恐怖反応の消去に及ぼす グルタミン酸 NMDA 受容体遮断薬の効果	山田 一夫
大西 真野	日記およびウェブ日記が精神的健康に及ぼす影響	湯川進太郎

IV 2009年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名(掲載誌), または受賞理由
心理学系		
○香川 秀太	第1回心理学独創研究内山記念賞 (筑波大学心理学系, 2009年9月)	「複数の文脈を横断する学習」への活動理論的アプローチ—学習転移論から文脈横断論への変移と差異 心理学評論, 51, 463-484.
○杉江 征	2009年度 Best Faculty Member (筑波大学, 2010年3月)	筑波大学の大学教員業績評価により, 極めて優れた活動を行った教員として, 学長表彰を受けた。
心理専攻		
○工藤 麗弥	平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞 (筑波大学, 2010年3月)	妊婦及び1歳児をもつ母親の会話と精神的健康の関連, 平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
○西澤千枝美	発達科学研究教育奨励賞 (発達科学研究教育センター, 2009年8月)	「幼児の不安傾向とその関連要因の検討—不安傾向の変化と乳幼児期の子どもの気質・養育者の養育行動との関連—」というテーマが採択され, 研究助成金34万円を受領した。

- 村上 達也 平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞、平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞（筑波大学、2010年3月）
児童期におけるアタッチメントの内的作業モデルの構造、平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文

心理学専攻

- 相羽 美幸 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援（筑波大学国際部国際企画課、2010年1月）
What's the desirable behavior for Japanese adolescents at the problematic situations in romantic relationships? The 11th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology (Las Vegas).
- 太田 礼穂 発達科学研究教育奨励賞（発達科学研究教育センター、2009年8月）
「養育者は子どものどのような応答を絵本の物語理解とするのか？—間主観的理解からの検討—」というテーマが採択され、研究助成金34万円を受領した。
- 川上 直秋 （財）吉田秀雄記念事業財団第43次研究助成（（財）吉田秀雄記念事業財団、2009年3月）
国際会議等旅費補助金（日本心理学会、2010年1月）
「パターンの異なる広告への反復接触が商品の好感度に及ぼす効果—潜在的測定方法による蓄積の効果を踏まえた心理学的検討—」というテーマが採択され、研究助成金50万円を受領した。
Accumulative effects and long-term continuity of subliminal mere exposure. The 11th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology (Las Vegas).
- 倉住 友恵 第18回大会優秀大会発表賞（日本パーソナリティ心理学会、2009年11月）
学習しない理由が有する精神的健康との肯定的結びつき—子ども達は勉強しなくても元気に過ごせる？—日本パーソナリティ心理学会第18回大会発表論文集、72-73.
- 鈴木 高志 TF 優秀賞（筑波大人間総合科学研究科、2010年2月）
心理学類授業「心理学基礎実験（質問紙法分野）」
- 葉山 大地 第16回上武学術奨励賞（筑波大学心理学系、2009年9月）
葉山大地・櫻井茂男（2008）. 過激な冗談の親和的意図が伝わるという期待の形成プロセスの検討 教育心理学研究, 56, 523-533.
- 藤 桂 2009年度若手研究助成（財団法人社会安全研究財団、2009年7月）
平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞、平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞（筑波大学、2010年3月）
「ネットいじめ加害者の心理的過程の検討—動機・認知的要因に着目して—」というテーマが採択され、助成金88万円を受領した。
インターネット利用が社会性および攻撃性に及ぼす影響：インターネット行動尺度による分析を通して、平成21年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻学位論文
- 三浦 絵美 国際会議等旅費補助金（日本心理学会、2010年1月）
Narcissism and causal attribution and affection to past events. The 11th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology (Las Vegas).

感性認知脳科学専攻

- 領家 梨恵 大会優秀発表奨励賞（日本動物心理学会、2009年9月）
ラットの心的外傷性ストレスが後の恐怖条件づけおよびHPA系に及ぼす影響 日本動物心理学会第69回大会